

第3章 施策の推進

1. 目指すべき姿

世界の人々に愛される国際交流都市 山口

～交流と共生がすすむ わたしたちのまち～

グローバル化が進展し様々な分野において世界の国々や都市の人々との関係が深まりをみせる中、本市においても訪日外国人や外国人市民が増加傾向にあるなど、海外の都市や人々とのつながり、交流の機会は広がりつつあります。

こうした中で、本市が国際社会の中で存在感を示しながら幅広い国際交流を通じて都市の発展と成長を続けていくように、その指針となる中長期的な本市の目指す方向性を「目指すべき姿」として表現し、市民の皆様と共にしながら様々な分野において国際化を推進していきます。

本市が国際化を進めることで、海外都市との多様な交流と外国人材の活躍による新たな価値の創造、地域の経済活力と生活の質の向上などを図り、人口減少時代にあっても都市の発展と成長を維持していくことを目指していきます。

「世界の人々に愛される」とは、海外の人々との交流を通じて本市の価値や都市の魅力を発信し、本市が世界の人々にとって特別な存在でありたいとの思いを表現しています。

姉妹・友好都市をはじめとした海外都市とのこれまでの文化的・経済的な交流は、日本の中でも山口を特別な都市として知っています。連携を深めることにより、厚い信頼と深い友情が芽生えています。この信頼と友情をより多くの海外都市へ拡げていくとともに、市民の間にも展開していきます。

また、都市間交流のみならず、外国人市民の方々との多文化共生の推進も本市の魅力につながります。

本市の外国人市民の約半数は技能実習生や留学生など、数年を単位に母国に帰国される方々ですが、在住期間中は日本人市民と同様に生活者として捉え、共生に向けた取組を進めています。また帰国の際には、本市で暮らした日々の印象と体験を良いものとして世界各国に持ち帰っていただき、シティセールスにつなげていきます。

さらには、永住者の方々は日本人市民と外国人市民をつなぐキーパーソンとなることが期待されます。

今後、外国人市民と日本人市民とが、文化や生活習慣の違いを理解し合いながら地域で心を寄せ合う取組をこれまで以上に進めていきます。

こうした取組を通して、国際社会における本市の存在感を一層高めることができるよう世界に愛される都市を目指していきます。

「国際交流都市」とは「海外都市との交流」と「市内の外国人市民との交流」において、多様な国際交流の機会を創出し、市内だけでなく国内外において世界に開かれたまちを目指していきたいとの思いを表現しています。

姉妹都市をはじめ多くの海外都市との交流においては、海外都市との交流を通じ様々な知識や技術を取り入れ、本市のまちの活性化につながる機会を広げていきます。

市内における外国人市民との交流においては、地域における外国人市民との交流を通じ、外国人市民の方々が、地域のまちづくりで活躍し、地域の活性化につながる機会を広げていきます。

これら二つの交流から市内、国内、海外のあらゆる場面において本市の国際化を寄与できる機会を創出することで、本市における新たなまちの価値を創造し、都市の発展や成長につなげてまいります。

また、こうした海外都市や外国人市民との様々な交流機会を展開することで、より多くの市民が海外への興味・関心を持ち、海外との主体的な交流が育まれるなど県都として先進的な国際交流の機会に恵まれた都市を目指していきます。

この「世界の人々に愛される国際交流都市」を目指す上では、「交流」と「共生」のどちらかだけを進めるのではなく、交流により共生の意識が育ち、それが新たな交流につながるなど「交流」と「共生」が両輪としてバランスよく展開されることで相乗効果を生み出します。

目指すべき姿の副題に掲げているように「交流」と「共生」の取組をバランスよく進め、私たちが目指す「世界の人々に愛される国際交流都市 山口」の実現につなげていきます。

2. 基本方針

目指すべき姿の実現に向けて、「国際交流の推進」と「多文化共生の推進」を2つの大きな柱と位置づけ、海外都市との幅広い交流と外国人市民も安心して暮らしていく社会づくりを同時に展開し、本市の国際化を進めていきます。

■施策1 国際交流の推進

海外都市との交流では、これまで姉妹・友好都市との市民交流に主軸を置いた事業の展開を進めてきました。今後は民間事業者による幅広い国際交流の機会も創出又は促進し、インバウンドをはじめとする本市の特色を生かした経済交流の発展も目指します。

また、地域における外国人市民との交流や海外都市との交流など国際交流を支える担い手の育成、とりわけ青少年における国際感覚の醸成を図ることで本市の国際化を牽引する人材を育成していきます。

さらに、国際貢献につながる取組を進めるとともに、本市の魅力を効果的に海外に発信することで、国際社会における本市の存在感を高めていきます。

■施策2 多文化共生の推進

外国人市民と日本人市民との交流を促進するなど、互いの文化の違いを理解し認め合いながら共生できる多文化共生社会の構築を進めていきます。

多文化共生の実現に向け外国人市民にとって暮らしやすい環境の整備を進めるため、災害をはじめとする行政情報等における言葉のバリアフリー化に取り組み、行政サービスや制度にかかる情報提供の改善などを進めていきます。

また、外国人市民にとって最も身近な地域において多文化共生を促進し、相互交流や外国人市民の活躍による地域の活性化を目指します。

3. 施策体系

目指すべき姿の実現に向け、施策体系を定め国際化の推進を展開します（図3－1）。この体系は、第2章の「4. 本市における課題（2）課題の整理」の内容を施策に反映させるため、施策1「国際交流の推進」及び施策2「多文化共生の推進」にそれぞれ3つの基本施策により構成しています。

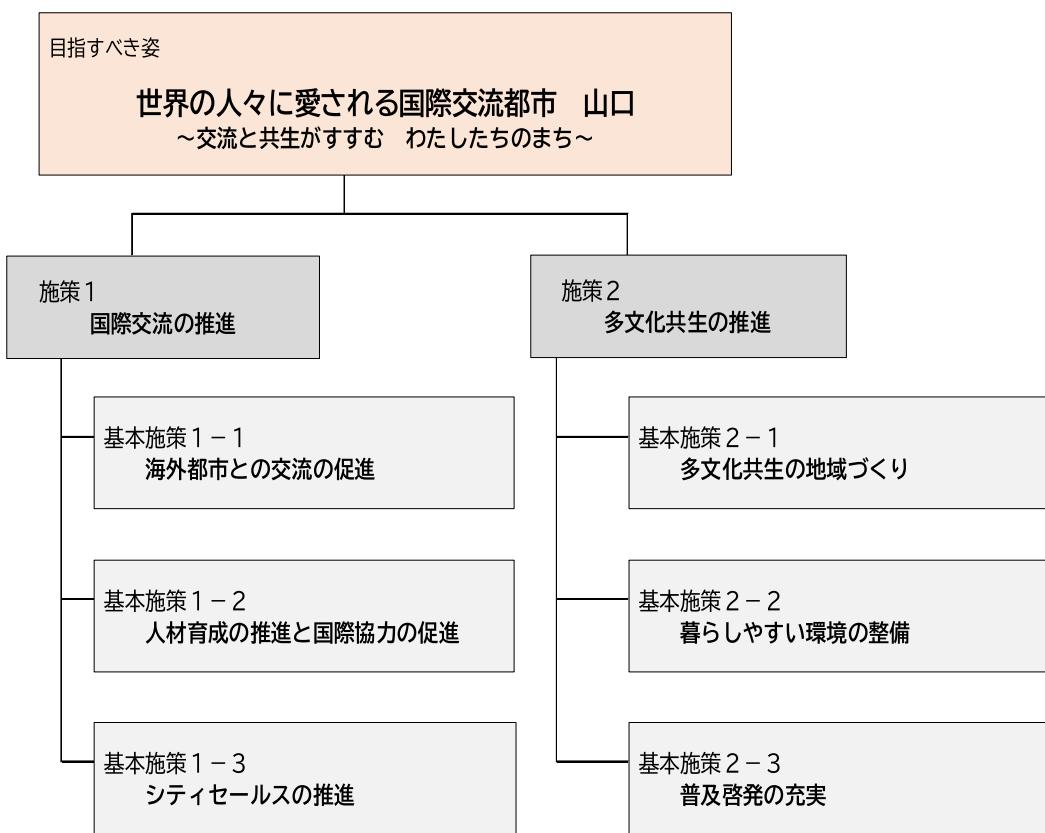


図3－1 施策体系

4. 目標達成指標

目指すべき姿の達成状況を示すため、2つのKGI（重要目標達成指標）を設定し、また、目指すべき姿の経過状況を示すために2つの施策にはそれぞれKPI（重要業績評価指標）を設定します。

施策体系におけるKGIとKPIの位置づけを（図3－2）に示し、具体的なKGIとKPIを（図3－3）に示します。これらの数値により、本市の国際化の達成状況や進捗状況を分かりやすく確認できます。

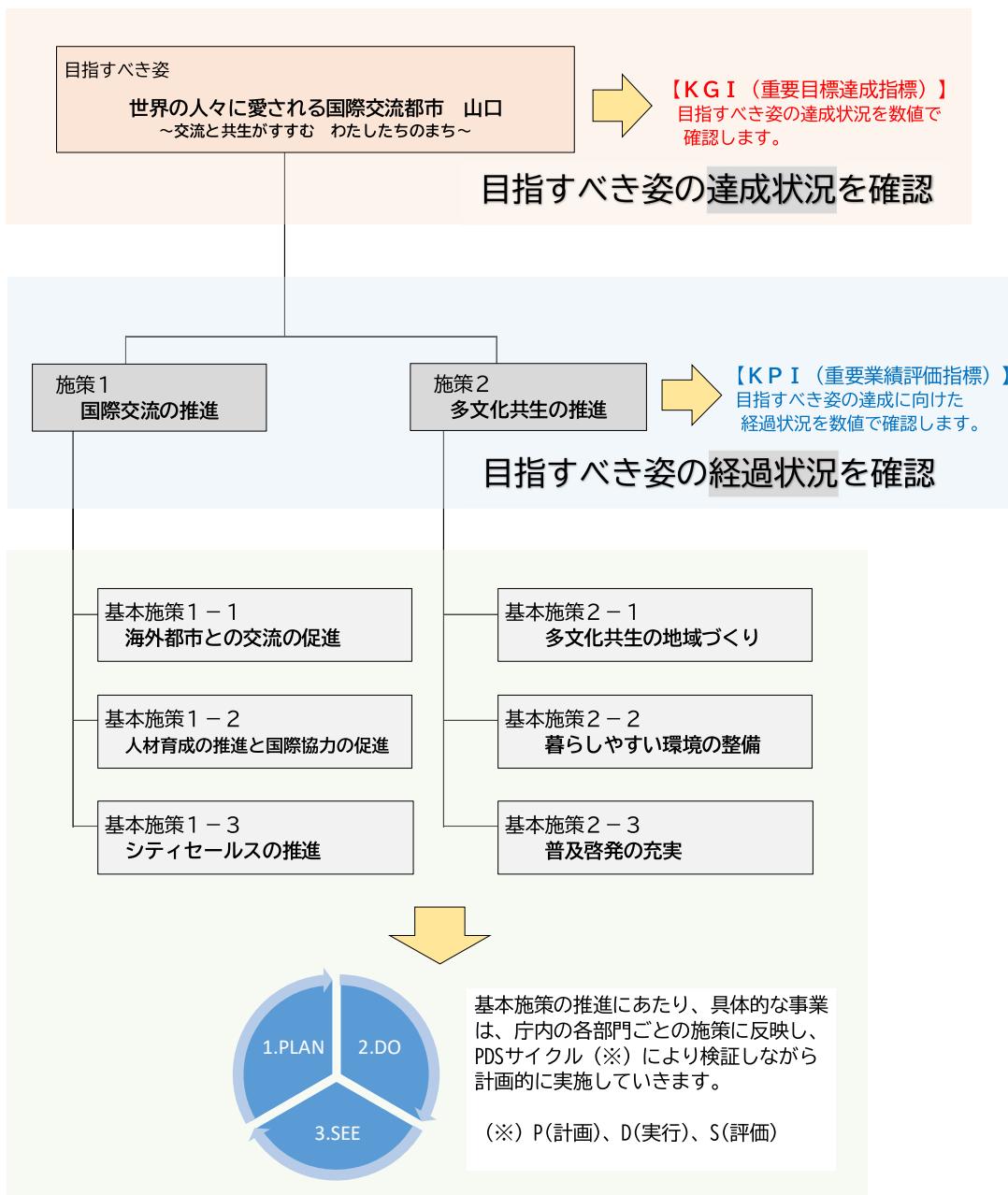


図3－2 施策体系におけるKGIとKPIの位置づけ

目指すべき姿

世界の人々に愛される国際交流都市 山口
～交流と共生がすすむ わたしたちのまち～

【KGI（重要目標達成指標）】

| 指 標 | 基準値 (2019年) | 目標値 (2027年) |
|--|----------------|----------------|
| 国際化が進んでいると思う山口市民の割合 ※1 まちづくりアンケート | 21% | 30% |
| 山口市での生活に満足していると思う外国人市民の割合 ※2 多文化共生に関するアンケート | 56% | 70% |

施策1
国際交流の推進

施策2
多文化共生の推進

【KPI①（重要業績評価指標）】

| 指 標 | 基準値 (2019年) | 目標値 (2027年) |
|--------------------------------------|----------------|----------------|
| 国際交流・国際協力に取り組んだり、行事に参加したことのある山口市民の割合 | 4.4% | 15% |

※1 まちづくりアンケート

【KPI②（重要業績評価指標）】

| 指 標 | 基準値 (2019年) | 目標値 (2027年) |
|---------------------------|----------------|----------------|
| 外国人市民が暮らしやすいまちだと思う山口市民の割合 | 26.7% | 30% |

※1 まちづくりアンケート

図3-3 KGIとKPI

指標は、山口市総合計画の後期基本計画において、現状や課題に応じて変更する可能性があります。

※1 まちづくりアンケート

調査対象者：山口市住民基本台帳により市民を無作為抽出

調査数：約5,000件

※2 多文化共生に関するアンケート（P54参照）

5. 基本施策

(1) 施策1 国際交流の推進

基本施策1－1 海外都市との交流の促進

【ねらい】

海外都市の特性に応じて様々な分野において交流機会を創出し、相互に政策的な連携を図っていきます。

とりわけ、姉妹・友好都市との交流は、これまで培ってきた信頼のもと姉妹・友好都市締結の歴史的な背景や関係性を理解するとともに海外都市との相互理解と国際感覚の醸成を図っていきます。

また、今後は海外都市との文化・スポーツなどを通じた市民交流に加え、観光や農商工関連の産業をはじめとする海外との経済交流についても促進し、ひと・もの・資金を呼び込み、海外への本市の魅力を情報発信していきます。

2020年に世界に拡大した新型コロナウイルス感染症への対応

【withコロナ】

新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される間は、「withコロナ」として新たな生活様式を踏まえながら、海外都市との交流を進めます。

特に、姉妹都市交流をはじめとする、派遣や受入れを伴う相互交流については、状況を注視しながら安全が確認された上で実施していきます。

また、オンラインを活用した新たな交流形態についても幅広い分野において進めています。

【afterコロナ】

新型コロナウイルス感染症の影響が収束したのちは、海外からのひと・もの・資金を呼び込む交流を進めていきます。

【主な取組の方向性】

■姉妹・友好都市との交流

- ・姉妹・友好都市に関する情報や交流の歩みについて理解を深め、関心を持つ機会を創出し、多くの市民が交流に参画できる環境を整備します。
- ・文化やスポーツなど幅広い市民交流を促進し青少年をはじめとする市民の国際感覚の醸成を図ります。



中国・济南市青少年訪問団の受入

■多様な交流機会の創出

- ・文化・スポーツを通じた市民交流をはじめ、観光や経済活動など特定分野における海外都市との新たな交流機会を創出していきます。
- ・青少年を中心とした英語圏の海外都市との交流や海外経験の機会を創出していきます。
- ・ＩＣＴを活用した多様な都市との新たな交流を創出していきます。



オーストラリアでの青少年交流

■インバウンド・アウトバウンド

- ・近隣県や県内での広域連携を進め、東アジアや東南アジア、欧米豪からの外国人観光客の誘致を進めます。
- ・外国人市民の協力を得ながら、多言語化をはじめ外国人観光客をおもてなしできる受入環境の整備を進めます。
- ・県内の最大宿泊拠点である湯田温泉や山口市産業交流拠点施設が立地する新山口駅周辺エリアとの連携による国際会議・コンベンション誘致に向けた機能の活用を推進します。
- ・姉妹・友好都市を含めた世界とのネットワークを生かした観光をはじめとする経済交流を促進します。
- ・JETRO（日本貿易振興機構）をはじめとする関係機関と連携しながら、ECサイト（電子商取引）や商談会などを活用し、民間事業所の海外進出・販売拡大を支援します。



基本施策 1 – 2 人材育成の推進と国際協力の促進

【ねらい】

国際社会においてグローバル化が進展する中、語学力をはじめとしたコミュニケーション能力に加え、海外への関心を高め文化の違いを理解できるグローバル人材を育成できる機会を創出します。

また、姉妹・友好都市をはじめとする本市の国際交流活動を支える団体や担い手を育成し、市民への国際理解を深める機会の提供や市内における多文化共生を進める環境の整備を行います。

さらに、JICAや国際活動団体と連携し、国際協力の取組を促進します。



中国・济南市へ青少年訪問団を派遣



オーストラリアへ青少年訪問団を派遣

【主な取組の方向性】

■外国人市民との交流

- ・留学生をはじめ市内に在住する外国人市民との多様な交流事業を通じ、世界の文化の違いを知り、理解し合う機会を設けます。
- ・市内の小中学生が生きた英語で外国人市民と交流したり、外国人市民の母国の言語や文化を通しての交流機会を設けるなど、グローバル人材育成に向けた交流の場も創出していきます。



留学生と市民の交流

■国際交流活動団体や人材の育成

- ・本市の国際交流を先導してきた市民団体等の活動を促進するとともに、幅広い世代でのボランティア人材の登録・育成・活用を促進し、活動に携わる人材を育成します。

■学校教育における外国語及び国際理解教育

- ・市内小中学校に外国人英語指導助手（ALT）を配置し、外国語教育や国際理解教育の充実を図るとともに、教職員研修を実施し質の高い教育環境の整備を進めます。

■海外都市からの行政視察の受け入れ

- ・大学や民間と連携しながら、世界の各都市からの行政視察や事業研修員の受け入れや、各種制度や技術協力などにおける国際貢献を促進します。



海外都市からの企業視察団受入

■国際協力の活動支援

- ・JICAや国際交流活動団体と連携し、国際貢献に取り組む市民の活動を促進します。

基本施策1－3 シティセールスの推進

【ねらい】

世界に向けて本市の魅力を情報発信し、認知度向上を図り、「訪れてみたい・住んでみたい」と思われるような、国際社会においても存在感のあるまちを目指していきます。

文化芸術においてグローバルなネットワークを有する山口情報芸術センターをはじめ、瑠璃光寺五重塔や湯田温泉などの本市の魅力ある地域資源を積極的に情報発信していきます。

また、山口県央連携都市圏域や近隣県との広域連携や、本市在住の高度外国人材のネットワークも活用し、姉妹・友好都市など海外へのトップセールスを行うなど、本市の認知度向上に向けた戦略的シティセールスを実施します。



山口市留学生インバウンド観光大使の任命

【主な取組の方向性】

■訪日外国人の誘客に向けた情報発信

- ・インバウンドによる訪日外国人の誘客に向けてこれまでの東アジア、東南アジア対象から欧米豪に拡大しSNSの活用、留学生をはじめとする外国人市民との連携により世界に観光プロモーション活動を展開します。
- ・姉妹・友好都市や「観光」をテーマに相互に連携する海外都市との観光キャンペーンの実施などを展開します。



インバウンド誘客に向けた本市の観光PR

■高度外国人材の定住に向けた情報発信

- ・市内大学の留学生の起業、就職機会の促進、さらには企業による海外からの研修受入れなど、本市の高度外国人材の集積に向けて、本市の住みやすさの魅力を海外に情報発信します。
- ・本市の産業の継承と発展に向けて、企業への研修や留学で訪れた海外からの高度人材の集積が促進されるよう、関係団体と連携しながら、市内での就職に関する情報や外国人居住が可能な賃貸住居などの情報を提供できる仕組みづくりを進め、高度外国人材の定住を進めます。



■世界とのネットワーク化

- ・山口情報芸術センターなど世界とのコネクションを活用した本市の魅力発信力を向上させるとともに、一定期間で母国へ帰国する留学生などの外国人市民とネットワークを築き、帰国後も海外と本市をつなぐ役割を担う多様な人材登用を進めます。

■市内への海外企業誘致

- ・本市の経済活動拠点としての魅力をJETRO等と連携し、海外企業へPRするとともに、本市での事業展開や住みやすさの魅力を海外に向けて情報発信します。

■海外への売り込み

- ・県やJETRO等と連携し、海外で開催される「観光」「特産品」などの見本市への出展や姉妹・友好都市との交流事業等において行政と民間が一体となって取り組むプロモーションなど、本市の魅力を直接PRする場を創出していくきます。



海外都市での山口市特産品のPR

■広域連携による認知度向上

- ・山口県央連携都市圏域や近隣都市と連携し、個々の魅力や強みを一体的に情報発信し、世界での認知度向上を目指します。

(2) 施策2 多文化共生の推進

基本施策2－1 多文化共生の地域づくり

【ねらい】

増加傾向にある本市で暮らす外国人市民との地域における多文化共生社会の構築を進め、互いの文化の違いを認めながらも誰もが協力し合い、共に働き、共に暮らしやすい地域づくり、まちづくりを進めていきます。

また、人口減少や高齢化が本格的に進展していく中、地域の中で外国人市民が活躍できる場づくりを進め地域の活性化にもつなげていきます。

さらに、外国人市民と日本人市民との交流機会を創出するため、海外生活の経験を持つ人材を中心に間をつなぐ仕組みづくりを進めます。

こうした普段の交流機会を活発化することで、地域住民の一員として活躍し、困りごとも気軽に相談できる関係性が構築された地域づくりを進めます。



外国人市民による地域清掃活動



山口留学生交流会が実施するリンゴ狩りバスツアー

【主な取組の方向性】

■地域の憩いの場づくり

- ・技能実習生が集住する地域において、地域の中で外国人市民と日本人市民が気軽に交流できる場づくりを支援します。
- ・モデル地域を募集し、地域内での交流における課題を抽出しつつ、全市的なモデルとなる憩いの場、交流形態を育みます。(※1)



外国人市民と日本人市民との交流

■地域交流を調整できる人材の育成

- ・モデル地域における交流事業を実践するにあたり、外国人市民と日本人市民との間をつなぐ人材を育成するとともに、事例を他地域へ展開できる仕組みづくりを進めます。
- ・海外協力隊OBや、海外生活の経験者などを中心に、地域における多文化共生社会の構築に向けたセミナーや講演会の実施などを通じ、本市にふさわしい地域内交流のあり方を研究していきます。

■外国人市民の活躍の場づくり

- ・地域で開催される運動会やまつりなど地域住民が集う交流イベントへの参加をはじめ、地域防災訓練、地域清掃など地域住民による互助的活動への参画を促し、外国人市民の知見を生かし新たな視点で地域づくりを行うなど、地域の担い手としても活躍できる環境づくりを進めます。(※2)
- ・日本人市民と外国人市民をつなぐキーパーソンとなるようなリーダー育成や活動を支援します。



外国人市民による地域行事への参加

(※1)モデル地域では、ごみ出しをはじめとする地域でのルールやマナーなどについてワンストップで情報提供できる仕組みづくりについても研究します。

(※2)地域内の活躍の場としては、外国文化を伝えるものだけではなく、例えば、外国大学生に学生消防団への参画を促すなど外国人市民も様々な場面で担い手として活躍できる機会を創出していきます。

基本施策2－2 暮らしやすい環境の整備

【ねらい】

地域における多文化共生社会の構築を進めると同時に、文化的な違いや言葉の違いに伴う日常生活における困りごとが少しでも軽減できるよう、外国人市民が暮らしやすい環境の整備を進めます。

とりわけ、多言語表記の推進においてはICTの活用や「ピクトグラム」、「やさしい日本語」を普及し、誰もが言葉のバリアフリーに主体的に取り組める環境づくりを進めます。

また、教育、医療、防災、行政など生活に密着した情報や各種サービスなどを享受しやすい環境を整えるため必要な時にワンストップで情報にアクセスできる仕組みづくりを構築していきます。

さらに、関係団体と連携を図りながら外国人市民からの相談を受けとめられる体制の整備を図ります。



図3－4 ICTを活用した市広報紙の取組



図3－5 やさしい日本語やピクトグラムで表記した避難所看板

【主な取組の方向性】

■言語を学べる環境の整備

- ・日本語を学習したい外国人市民に学習環境を引き続き提供するとともに、近年外国人市民の数が増えている阿知須や秋穂など、市内南部地域における学習機会の拡大を図ります。
- ・外国人市民や訪日外国人と市民とが集い、英語や日本語を通じて気軽に交流ができる場づくりを進めます。
- ・外国にルーツを持つ子ども達が、本市で安心した日常生活を送られるよう、関係団体等と連携しながら、日本語コミュニケーションを図る機会を提供していきます。



日本語学習機会の提供

■言葉のバリアフリー化

- ・行政情報では多言語による情報取得が可能となるよう I C T を活用した市広報紙の情報提供を推進します（図5－1）。
- ・とりわけ、日常生活に密着した情報である、ごみの分別、転出入、税や保険などに関する行政手続きや各種制度、また、災害時対応などにおいて外国人市民にも分かりやすい情報提供を進めます（図5－2）。例えば、「やさしい日本語」による説明のほか、外国人市民の使用頻度が高い4言語化（英語、ベトナム語、中国語、韓国語）や映像による情報提供などに努めます。
- ・日常生活の様々な場面において外国人市民が各種サービスの情報を取得しやすくできるよう、 I C T 、コミュニケーションボード、ピクトグラムの活用を促進していきます。

■ネットワークの構築

- ・関係団体や地域住民との連携により、外国人市民の困りごとや相談を受け止め・関係者へつなぐといった支援のネットワーク化を構築していきます。
- ・外国人市民が互いに連携・協力できるよう外国人市民同士のネットワークづくりを促進します。
- ・技能実習生をはじめ外国人材の活用を考える事業者に対し、関係団体等との連携を図りながらセミナーの開催などを支援し、行政をはじめ、事業者、経済団体など様々な関係団体との情報提供や課題の共有を図るネットワークの構築に取り組みます。
- ・関係団体との連携のもと、外国語が話せる人材バンク等を活用し医療や各種手続などにおける通訳補助の人材確保を進めます。
- ・I C T や地域・関係団体との人的ネットワークなどを活用し、防災に関する情報の提供や災害時における支援体制の構築を図ります。

基本施策2－3 普及啓発の充実

【ねらい】

多文化共生社会の構築に向けた市民理解を促進するために、相互理解を深める様々な機会（各種講座、交流イベントなど）を創出していくます。こうした相互交流により異なる文化や考え方の違いを理解するとともに、お互いを尊重し合う関係を育んでいきます。

さらに、市職員への多文化共生に関する研修を実施し、自らの業務において、多文化共生の視点を踏まえ主体的に行動に移せる人材の育成を進めます。



市民向けのやさしい日本語講座



市職員向けの多文化共生講座

【主な取組の方向性】

■市民への理解促進

- ・県国際交流協会等と連携した諸外国の文化や考え方の違いを学ぶフォーラムの開催や各地域での人権講座等を通じて相互理解の促進を図ります。
- ・市民団体や活動団体、地域などと連携し、外国人市民と日本人市民が様々な交流を通じて、多様な文化や習慣を学び、友情を育むとともに互いを尊重し合う機会を創出します。
- ・外国人市民の人権尊重に向けた学習機会を創出し、幅広い世代において、多文化共生社会の構築に向けた教育や啓発を実施します。



県国際交流協会と連携した啓発講座

■市職員への研修

- ・多文化共生について理解を深める機会や、やさしい日本語の活用について学ぶ機会を創出します。
- ・日本人市民と同様に行政サービスを享受できるよう各行政分野において、外国人市民が暮らしやすい生活環境を整えるための取組を進めます。



市職員の多文化共生講座

■関係機関等への情報提供

- ・雇用・医療・子育て・教育・災害など様々な日常生活の分野において外国人市民が抱える悩みや課題について、それぞれの関係機関と課題を共有しながら連携・協力し、解決に向けた取組を進めます。



コラム

外国人市民を対象とした講座の実施により、日常生活をサポートしていきます。

■出前講座による外国人市民へのごみ分別の啓発

来日して間もない外国人市民の方々にとって、日本の生活様式は自国の文化と異なるルールが多く、理解不足に起因した住民とのトラブルにつながることがあります。

中でも、家庭用ごみの分別やごみ出しは外国人市民にとって頭を抱える課題の一つで、市資源循環推進課では外国人市民に対しごみの分別やルールの学習機会を設けるため、2019年11月に外国人市民と自治会役員を含めた住民参加による出前講座を実施いたしました。

外国人市民が、ごみ分別への理解を深めるとともに、自治会関係者の方も文化の異なる生活様式について相互理解できる機会にもなりました。

今後は、外国人市民に対するごみ分別の啓発を進めるため、動画による紹介も検討していきます。



英語版のごみ分別ポスター(一部)



ごみ分別の練習を行う外国人市民

■災害から命を守り、誰もが安全安心に暮らせるまちへ

日本は海外と比較して台風、洪水、土砂災害、地震、津波など様々な自然災害が多く、外国人市民や訪日外国人に対し災害・防災に関する情報提供や対策を行うことは大変重要です。

2020年9月に、災害等に対する理解を深めるため、技能実習生を雇用している民間企業の協力のもと、実習生に対する防災講座を開催しました。

講座では、日本で発生する災害情報（ストック情報）をはじめ、災害発生時への対応、避難場所の確認、平時からの防災への備えなどについても説明し、理解を促しました。今後は地域における自主防災訓練などにも外国人市民が参画し、自助や共助の取組を促進していくことが必要です。



防災への理解を深める外国人市民



外国人住民のための防災ハンドブック

6. 推進体制

基本施策の推進にあたっては「第二次山口市総合計画」における実行計画において、向こう三年間の具体的な事業を明示し、計画的に実施していきます。実施について「PDSサイクル」により事業を検証し、施策横断的に次年度以降の事業計画に反映します。

また、国際情勢は数年で大きく変化することから、現状や課題を的確に捉えることができるよう、行政だけではなく、大学、経済団体、市民団体など各種分野における関係者との(仮称)山口市国際化推進懇話会を引き続き開催し、外国人市民の方の意見もうかがいながら事業の検証や新たな課題を把握します。

国際施策は多分野にわたることから、事業の進捗においては府外の(仮称)山口市国際化推進懇話会での協議内容を、府内の(仮称)山口市国際関係連絡調整会議において情報共有し、福祉・経済・教育など施策横断的な取組を協働の下で迅速かつ効果的に実施できるように努めます。(図3-6)

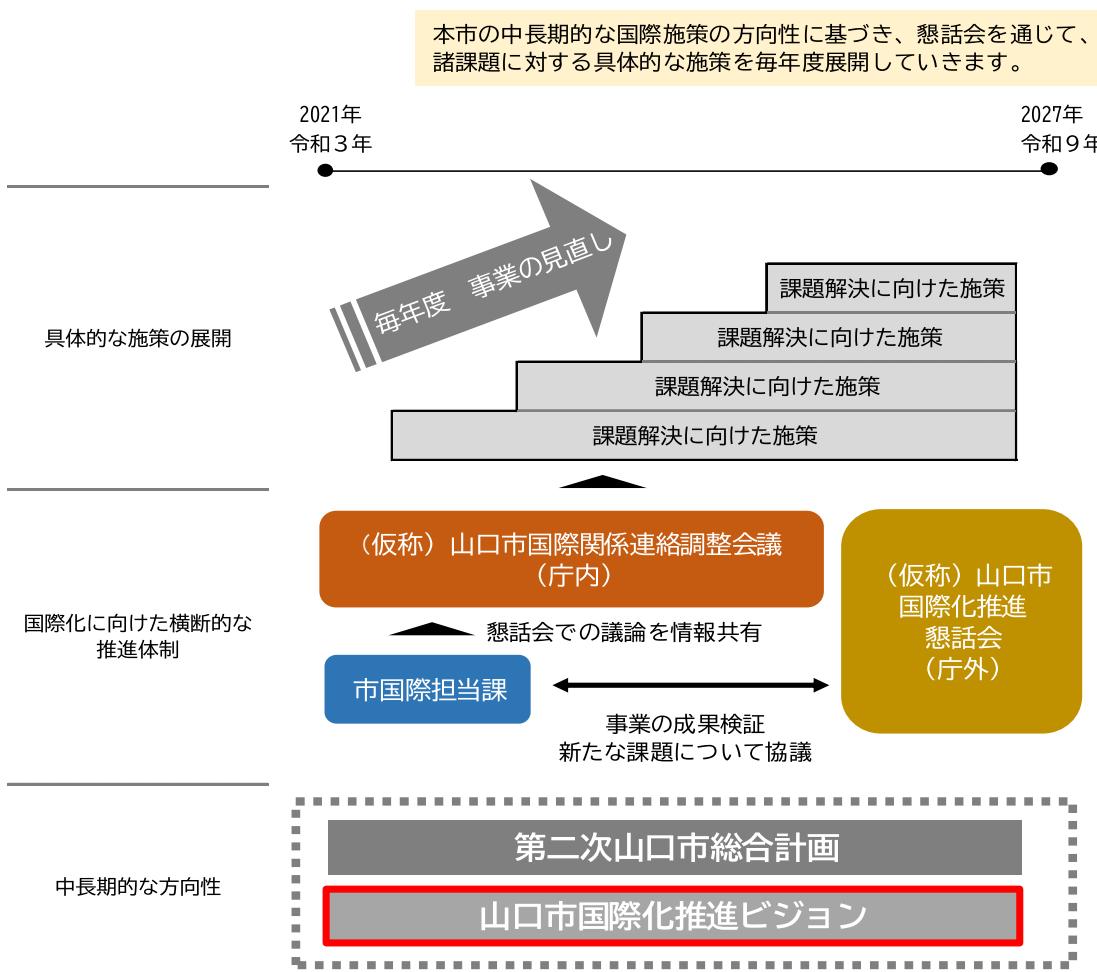


図3-6 具体的な施策展開イメージ

7. ビジョン推進に向けた各主体の役割

本ビジョンの推進にあたっては、市民をはじめ大学、市民団体、経済団体、行政などがそれぞれの立場から本市の国際化を担う一員として役割分担をしながら相互に連携、協力していきます。

(1) 市民の役割（外国人市民・日本人市民）

外国人との交流機会が増加する中、市民一人ひとりが国際社会の一員として海外に関心を持ち、多文化を理解する行動が本市の国際化の原動力となります。国際交流に関する各種事業やボランティア活動などに市民が積極的に取り組むなど、市民主体の国際化が拡大していくことが期待されます。

特に、外国人市民が地域行事へ参画し、地域の一員として日本人市民と協力しながら地域の活性化に取り組むことは、地域内での多文化共生を推進する上で大きな役割を担っています。

(2) 大学の役割

海外の優秀な学生に専門的な高等教育を提供するとともに、学術交流や共同研究を通じ本市の学生も海外で専門的な教育を受ける環境を提供するなど国際社会におけるグローバル人材を育成する役割を担っています。また、本市で学ぶ留学生は地域との交流を通じ、国際交流の推進、多文化共生の推進の機会を提供できる役割も担っており、市民と留学生との円滑な交流機会を創出し、語学や文化をはじめ本市の国際化を進めることや、地域が抱える課題への解決など、海外都市の高度人材による地域貢献が期待されます。

(3) 市民団体の役割

市民団体の様々な国際交流活動は、姉妹友好都市をはじめとする海外都市との交流を推進し、本市の国際化や広く市民への国際感覚の醸成に多大な貢献をされています。

また、留学生との交流をはじめ、増加傾向にある本市の外国人市民に向けて、言語や文化の異なる日本での日常生活をきめ細やかにサポートしていただいている。

こうした市民団体の活動は、大学や行政とも連携しながら、幅広い世代の方々の国際交流への参画と理解を促進し、人材育成や外国人市民との多文化共生に大きな役割を担っています。

今後も、多様な主体と連携しながら、迅速で柔軟な取組が広がることが期待されます。

【参考】山口市市民活動支援センター「さぽらんて」

<https://www.saporant.jp/organization-list/>

市内で活動している市民団体を検索できます。



（4）企業・経済団体の役割

外国人を技能実習生として受け入れ、企業が有する産業関連知識や技能を伝えるなど人材育成による国際貢献の一翼を担っています。

技能実習生は増加傾向にあり、地域社会で安心して暮らせるよう日常生活の支援がこれまで以上に求められています。企業には地域と技能実習生が円滑に交流できるよう多文化共生の推進に取り組むことが期待されています。

また、経済団体は企業の外国人雇用に関するセミナー実施など高度な外国人材の活用に向けた支援や、山口の農商工に関する各種產品をはじめ、伝統工芸品など海外販路拡大に向けた機会の創出が期待されます。

（5）山口県国際交流協会の役割

国際交流活動や多文化共生に関する長年のノウハウや専門人材を有しております、行政や市民団体と連携しながら、広く市民・県民の主体的な取組を促進する役割を担っています。

また、地域における日本語教育の普及をはじめ、言葉や文化などが異なる日本で暮らす外国人市民の様々な分野にわたる総合的な相談機能を有し、関係団体と連携しながら課題解決する役割を担っています。

（6）山口市の役割

本市の国際化推進に向けて現状や課題を的確に把握し、本市の国際施策のビジョンを示すとともに、関係団体と連携・調整を図りながら総合的に国際化を推進していきます。

推進にあたっては、市民の主体的な国際交流活動が促進される環境の整備、外国人市民が安心して日常生活を送るとともに活躍できる環境の整備について、関係所属間の連携を進めていきます。